

### 3 道路交通

名古屋高速道路、松江自動車道が全線開通  
新高速乗合バス制度への移行と新たなサービス展開  
道の駅が1,000を突破

#### (1) 高速道路の利用状況

13年の高速道路通行台数は、日平均で約505万台、対前年2.2%増であった。月別では1月が対前年2.4%減と最も減少が大きく、5月、6月、11月、12月で対前年4.0%以上の増加となった。

図Ⅲ-2-3-1 高速道路通行台数(月別日平均)の前年比



資料：公益財団法人高速道路調査会「高速道路統計月報」をもとに(公財)日本交通公社推計

#### (2) 高速道路・高規格道路の開通状況

14年4月1日時点の高規格幹線道路の開通状況は、供用距離が1万685kmであり、87年の高規格幹線道路網計画に示された整備目標約14,000kmに対する進捗率は約76%となった。内訳は、高速自動車国道が9,253km(並行する一般国道の自動車専用道路を含む、整備目標1万1,520kmに対する進捗率は約80%)、一般国道の自動車専用道路が1,432km(整備目標2,480kmに対する進捗率は約58%)である。

13年以内に開通した高速道路・高規格幹線道路を表Ⅲ-2-3-1に示す。名古屋高速道路は、高速4号東海線(六番北~木場間)が開通し、全線開通となった。これにより、南北を結ぶ路線が2路線となり、渋滞緩和が期待されている。

また、松江自動車道は、三次東JCT・IC~吉田掛合IC間の開通により全線開通となった。これにより、広島~松江間が高速道路でつながった。既に、松江市~尾道市・福山市間の高速バス路線が新規運行を開始しており、広域による観光交流の活性化が期待されている。

#### (3) 新高速乗合バス制度への移行と新たなサービス展開

13年7月末で高速ツアーバスが廃止され、8月より「新高速乗合バス制度」がスタートした。本制度は、関越自動車道における高速ツアーバス事故(12年4月)を背景に、利用者の安全性確保や利用者保護責任の明確化などを念頭に、高速乗合バスと一本化されたものである。

もともと、高速ツアーバスは高速バス市場全体における輸

送人員シェアが6%にすぎないものの、新制度導入以降、一部の大都市間路線においては料金値上げや座席確保が困難になるなどの影響が見られる\*。また、新制度では停留所の設置が義務付けられているが、大都市などでは新たな停留所の設置が困難であることから、新制度移行を断念したケースや、停留所を設置できても、続行便(増発便)が設定できなかったり、交通拠点からやや離れた場所に設置せざるを得ないようなケースも生じている。

一方で、こうした立地不利を補う新たなサービスを提供する事業者も見受けられる。WILLER TRAVEL株式会社の場合は、新宿および大阪梅田のバスターミナルが、いずれも駅から徒歩10分以上の距離があるものの、ターミナル内において、コインロッカー、インターネットスペース、公衆無線LAN、携帯電話充電サービス、宅配サービスなどを提供しており、立地の不利を補っている。株式会社ロイヤルバスにおいても、バス利用者の待合施設として「BUS STOP CAFE」を設け、同様のサービスを提供している。

新制度への対応を通じて市場からの信頼の回復がなされ、新たなサービス提供などの差別化戦略により市場が活性化することが期待される。

\*参考資料 第2回「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」フォローアップ会議 資料6 新高速乗合バスへの移行に関する実態(14年1月14日)、国土交通省

#### (4) 高速道路・高規格道路の便益施設の状況

13年以内に新設・リニューアルされたSA、PAを表Ⅲ-2-3-2に示す。高速道路各社は、昨年に引き続きSA、PAのブランド化を一層進めた。

NEXCO東日本では、テーマ型エリアの第2弾として、東北自動車道・羽生PA(上り)に故池波正太郎氏の人気小説「鬼平犯科帳」の世界を表現した「鬼平江戸処」をオープンした。NEXCO中日本では、東名高速道路・海老名SA(上り)で高速道路初となる百貨店とのタイアップイベントを、また、足柄SA(下り)ではテレビ局とのタイアップイベントをそれぞれ開催するなど、新たな展開を見せている。NEXCO西日本では、「モテナス」「アドヴァンストエリア」「パヴァリエ」の各ブランドを冠した計5店舗をリニューアルオープンした。

ブランド化の進展に伴いSA、PAは単なる休憩施設から目的地へと変化してきている。この動きは今後も継続すると見られる。

#### (5) 一般道路の便益施設の状況

「道の駅」は、休憩機能や情報発信機能、地域振興機能の3つを備えた施設として、93年から整備が進められている。制度発足以降、道の駅は右肩上がりの増加を続けており、13年には19駅が新設(1駅が廃止)され、総数1,014駅となり、初めて1,000を超えた(図Ⅲ-2-3-2)。

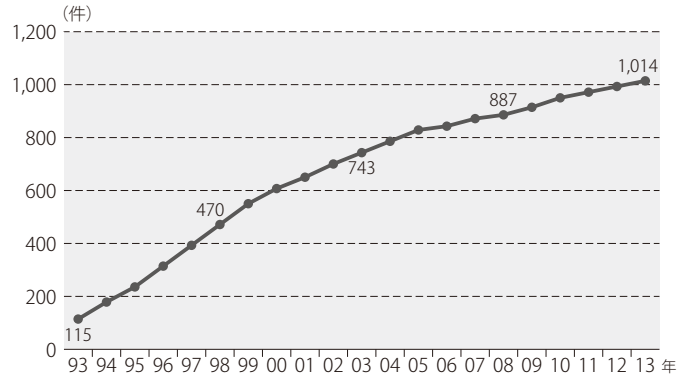
近年道の駅では機能の多様化が見られる。13年度に新設された施設を例にとると、「道の駅織姫の里なかの」と(石川県鹿島郡中能登町)では地域の防災拠点として防災設備(防災トイレ、非常用自家発電装置など)を設置している。「道の駅みつまた」(新潟県南魚沼郡湯沢町)は苗場山の麓にあり、

ここは谷川連峰の玄関口に当たることから、アウトドアショップにおいてmont-bell製品を販売している。「道の駅ソレーネ周南」(山口県周南市)では会議や展示会利用を想定した会議施設・設備を備えている。「道の駅柿の郷くどやま」(和歌山県伊都郡九度山町)では、日用品販売を行うスーパーマーケット機能を持たせ、地域住民の高齢化に伴い発生している「買い物難民」への対応策と位置付けている。

このように、地域ごとのニーズや課題に対応して、独自の機能・役割を有するさまざまな道の駅が増加している。このことは、地域において道の駅の重要性が一層高まっていることを示唆している。

(吉谷地裕)

図Ⅲ-2-3-2 道の駅の総数の推移 (93~13年)



資料：国土交通省資料「道の駅」登録一覧(2014.4.4)をもとに(公財)日本交通公社作成

表Ⅲ-2-3-1 13年内に開通した高速道路・高規格道路

地方	路線名	区間	延長	開通日	料金設定
東北地方	仙台北部道路	富谷JCT~富谷IC	1.7km	13.12.22	有料
関東地方	首都圏中央連絡自動車道	海老名IC~相模原愛川IC	10.1km	13.3.30	有料
	首都圏中央連絡自動車道	茅ヶ崎JCT~寒川北IC	5.1km	13.4.14	有料
	首都圏中央連絡自動車道	東金JCT~木更津東IC	42.9km	13.4.27	有料
中部地方	能越自動車道 七尾氷見道路	七尾城山IC~七尾大泊IC	9.3km	13.3.24	無料
	中部縦貫自動車道 永平寺大野道路	勝山IC~大野IC	7.8km	13.3.24	無料
	紀勢自動車道	紀勢大内山IC~紀伊長島IC	10.3km	13.3.24	有料
	熊野尾鷲道路	三木里IC~熊野大泊IC	13.6km	13.9.29	無料
	名古屋高速道路4号東海線	六番北~木場	3.9km	13.11.23	有料
	日本海沿岸東北自動車道	大館北IC~小坂JCT	16.1km	13.11.30	無料
関西地方	阪神高速6号 大和川線	三宅西出入口~三宅中	0.6km	13.3.21	有料
	阪神高速2号 淀川左岸線	島屋~海老江JCT	4.3km	13.5.25	有料
	京都縦貫自動車道	沓掛IC~大山崎JCT・IC	9.8km	13.4.21	有料
中国地方	中国横断自動車道 姫路鳥取線	大原IC~西粟倉IC	8.8km	13.3.23	無料
	中国横断自動車道 尾道松江線	三次東JCT・IC~吉田掛合IC	48.7km	13.3.30	無料
	山陰自動車道 鳥取西道路	鳥取IC~鳥取西IC	1.8km	13.12.14	無料
	山陰自動車道	赤碓中山IC~名和IC	8.6km	13.12.21	無料
四国地方	高知東部自動車道 南国安芸道路	香南かがみIC~香南やすIC	2.9km	13.2.17	無料
九州地方	東九州自動車道	蒲江IC~北浦IC	14.2km	13.2.16	無料
	西九州自動車道 唐津伊万里道路	唐津千々賀山田IC~北波多IC	3.5km	13.3.23	無料
	東九州自動車道	清武JCT~清武南IC	1.2km	13.3.23	無料

資料：高速道路株式会社各社のホームページなどをもとに(公財)日本交通公社作成

表Ⅲ-2-3-2 13年内に新設・リニューアルされたSA、PA

事業者名	施設名称	年月日	内容・特徴
NEXCO東日本	東北自動車道 矢板北PA(上下線)	2013.3.21	店内を一望できる開放感のある空間にショッピング、スナックコーナーを配し、リニューアルオープン。ヤシオポークの定食など約50品目を提供する他、ギョーザなど沿線の名物も販売。
	関越自動車道 嵐山PA(下り線)	2013.3.22	リニューアルオープン。地元比企郡の伝統野菜「のらぼう菜」を使ったオリジナルメニューや、新鮮たまごの嵐山プリンなど、食事もショッピングも楽しめる。
	東京湾アクアライン 海ほたるPA	2013.4.20	昨年12月の4階リニューアルに続き、「海の見える大回廊」が完成。PA全体を豪華客船に見立てた「ロマンチックシップ 海ほたる」をキャッチフレーズに、ショッピングを楽しみながらパノラマビューを楽しめる。
	道東自動車道 由仁PA(上下線)	2013.7.13	道東自動車道では初となるガステーション(GS)を上下線で開業。
	北陸自動車道 米山SA(上り線)	2013.8.6	新潟県内の高速道路では初めて(NEXCO東日本管内では12カ所目)のドッグランをオープン。
	東北自動車道 羽生PA(上り線)	2013.12.19	時代小説「鬼平犯科帳」が描き出す江戸の世界観を中心とした施設としてリニューアルオープン。時代考証に基づいた江戸の町や味を表現している。「寄居 星の王子さまPA」に続く、NEXCO東日本第2弾のテーマ型エリア。
NEXCO中日本	東海北陸自動車道 松ノ木峠PA(上下線)	2013.4.19	日本で一番標高が高い(標高1,085m)パーキングエリアとしてオープン。建物は「自然と調和した温かみのある施設」と「高山の文化」をコンセプトに高山の古い街並みをイメージ。
	東名高速道路 富士川SA(上り線)	2013.12.21	「EXPASA」店舗として商業施設をリニューアルオープン。富士山を望みながら、「富士宮やきそば」など地元オリジナルメニューを楽しめる。富士山をモチーフにした商品も多数取りそろえている。
NEXCO西日本	松江自動車道 加茂岩倉PA(上下線)	2013.3.17	松江自動車道の全線開通に当たり、施設間距離を考慮した配置計画により整備された。環境負荷の低減を目的に、太陽光発電の導入の他、LED照明の設置および自然光を積極的に採り入れる節電対策等を行っている。
	高松自動車道 府中湖PA(下り線)	2013.3.29	「モテナス」店舗として、四国地区で初のリニューアルオープン。
	九州自動車道 玉名PA(上下線)、 えびのPA(上下線)	2013.3.29	「モテナス」店舗としてリニューアルオープン。
	山陽自動車道 玖珂PA(上り線)	2013.3.29	「モテナス」店舗としてリニューアルオープン。
	山陽自動車道 道口PA(下り線)	2013.3.31	「モテナス」店舗としてリニューアルオープン。
	名神高速道路 大津SA(下り線)	2013.4.18	「パヴァリエ」ブランドとして、複合型商業施設「パヴァリエ びわ湖大津」がリニューアルオープン。湖面に浮かぶヨットをイメージした大屋根のある展望デッキで、眼下に琵琶湖と比叡山を望むロケーションを楽しめる。
	山陽自動車道 福山SA(上り線)	2013.6.27	「パヴァリエ」ブランドとして、中国地方で初のリニューアルオープン。地元福山市の市花「ばら」をメインコンセプトに、「ばらと陽光溢れる瀬戸内憩いのエリア」としてばら園や建物をリニューアル。
	大分自動車道 山田SA(上り線)	2013.8.6	営業施設の延べ床面積は約2.5倍に拡張しリニューアルオープン。地元・地域食材を使用したメニューや農産物・工芸品など魅力あふれる地域産品を販売。
	山陽自動車道 権現湖PA(下り線)	2013.9.26	店舗を増築しリニューアルオープン。神戸を中心に、兵庫県内の人気のある土産品を1個単位で提供するなど、購入しやすい商品を取りそろえる。
	山陽自動車道 淡河PA(上り線)	2013.10.2	現在ショップ内にあるコインシャワーを、マッサージチェアやコインランドリーを備えたシャワーステーションとしてリニューアルオープン。NEXCO西日本管内のシャワーステーションは8店舗目。
	山陽自動車道 奥屋PA(下り線)、 玖珂PA(下り線)	2013.12.21	「モテナス」店舗としてリニューアルオープン。奥屋PAは広島県では初の「モテナス」店舗となる。
	阪神高速道路	5号湾岸線 尼崎テクニランド駐車場	2013.5.24
3号神戸線 ナナ・ファーム須磨駐車場、 11号池田線 豊中南出入口(大阪方面)		2013.10.1	路外パーキングサービス社会実験として15年3月31日まで設置。
一般国道自動車専用道路(高規格幹線道路)	首都圏中央連絡自動車道 厚木PA(外回り)	2013.3.30	厚木PA(外・内回り)を含め、管内高速道路のSA・PA45カ所に51基のEV急速充電器を増設。駐車場、バリアフリー対応トイレ設備と自動販売機のみ。
	首都圏中央連絡自動車道 厚木PA(内回り)	2013.8.8	
	首都圏中央連絡自動車道 高滝湖PA(内回り)	2013.7.12	駐車場・トイレ設備のみで、レストランなどの営業施設はなし。外回りは工事により閉鎖中。

資料：高速道路株式会社各社のホームページなどをもとに(公財)日本交通公社作成